

折に触れ 四字熟語

NO. 125 『凄風苦雨』 せいふう くう

< 意味 > 冷たく激しい風と長雨のこと。人を悲しませたり傷つけたりするもののたとえにも使われる。「苦雨凄風（くうせいふう）」ともいう。

出典：「春秋左氏伝」昭公四年

表現：「凄風苦雨に悩まされる」「凄風苦雨の苦しい境遇」

一言：風雨シリーズ その4

地球温暖化のせいでしょうか、今年も台風襲来による風害、雨害が続いています。9月5日に発生した台風15号は、千葉市付近に上陸し、千葉県全般にわたり停電他による甚大な被害を与えました。我が家でも強風により屋根が損傷し、修理業者と損害保険会社をわずらわせました。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」